

# ろうさい ニュース

— 今月のトピックス —

当院形成外科のご紹介

「不育症相談」の開設について

浜松労災病院 地域医療連携広報紙 第367号 平成27年3月号

## ■形成外科のご紹介

形成外科副部長 藤高 淳平

当院、形成外科の紹介です。現在、常勤医2名で診療を行っています。2名とも形成外科専門医を取得していますので、比較的スムーズに診断から適切な治療に進めると思います。

形成外科は主に体表の外科疾患を扱っています。我々の努力不足のせいか、名前がわかりにくいのか、患者様には馴染みがない方も多く、ざっくりと皮膚の外科と紹介することもあります。手術症例は、特に皮膚・皮下腫瘍が最も多く、その中でも皮膚癌が増加傾向にあります。当院で昨年行った皮膚・皮下腫瘍の手術のうち10%が悪性腫瘍です。なお、平成23年では6%でした。次いで熱傷を含む外傷、近年は閉塞性動脈硬化症や糖尿病などによる潰瘍、患者さまの高齢化に伴う褥瘡などの難治性潰瘍も増加傾向にあります。また、かつては近隣には全身麻酔でレーザーが可能な病院が当院しかありませんでした。そのため、小児へのレーザー治療の歴史が古く、現在もそのノウハウが引き継がれています。



Vbeam

まず、レーザー治療について説明いたします。現在、赤あざに対するVbeam(Vビーム)と青あざに対するQスイッチルビーレーザーという2種類の機器を使用しています。

Vbeamは平成26年より当院へ導入されました。赤あざ用の保険診療可能なレーザーとしては最新の機器となります。莓状血管腫、単純性血管腫や毛細血管拡張に保険適応があります。以前のレーザーで改善しなかった血管腫にも効果があり、今後の活躍が期待されています。広範囲や小児の顔面症例は全身麻酔での治療もおこなっています。また、保険診療外となりますが肌質改善、小じわの改善にも効果があり、自費診療で治療が可能です。

続いて、青あざに対するQスイッチルビーレーザーは異所性蒙古斑や太田母斑、扁平母斑の治療に用いています。また、自費診療になりますが、加齢等により生じるシミにも効果があり、ハイドロキノン軟膏やトレチノインゲルという外用剤も使い併用治療しています。政府や日銀の大規模金融緩和以降は美容意識も高まっており、シミを気にされていた患者さまから人気があります。

続いて、増加傾向にある難治性潰瘍について。難治性潰瘍は文字通り難治で我々を悩まします。しかし、数年前から陰圧閉鎖療法という潰瘍を持続あるいは間欠的に吸引しながら治療する機器が使用可能となり、保存的治療も厚みが増してきております。また、培養表皮はまだ広範囲熱傷しか適応がなく潰瘍には使用できませんが、人工真皮を足場として用いた再生医療なども行っており、治療の選択肢に幅が広がっています。

形成外科は疾患を治すScientistな面と、きれいに治すArtistな面が必要と考えています。その両面とも最大限に発揮できるように診療に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



Ruby

## ■「不育症相談」の開設のご案内

不育症とは、妊娠するけれども流産・死産や早期新生児死亡を2～3回以上繰り返して生児を授からない状態を言います。

不育症の原因で一番多いのは反復する流産ですが、反復する流産の大半は、胎児の染色体異常が偶然繰り返されただけのケースです。一方、頻度は少ないけれど、母体の様々な異常が原因となっている場合もあります。不育症全体でみると母体側の原因で最も多いのが、何らかの原因で胎盤血管に血栓を作りやすくなり、そのため胎盤の血管循環が悪くなるというものです。次に多いのが子宮形態異常、そして母体甲状腺機能異常、夫婦の染色体異常と続きます。また、ストレスも原因の1つとして注目されています。

このような不育症は、まだ社会的認知度も低く患者さんは1人で悩むことも多いようです。当院では、こういった不育症の患者さんのために、**平成27年3月24日（火）**より相談窓口を開設します。どうぞお気軽にご相談下さい。相談したことでストレスの軽減につながり、不育症が改善することもあるかと思えます。

相談日時：毎週火曜・木曜 13:00～14:00

（相談希望日の8日前までに希望日時を申し込み下さい。）

相談人数：1日2人まで

料 金：1回 5,400円（30分）

相談担当医：朝比奈医師 （2015年静岡県不育症リーフレット作成委員）

## ■第14回浜松EAST医療連携セミナーの開催について



3月に予定しておりました「第14回浜松EAST医療連携セミナー」ですが**5月に開催を延期させていただきます**。開催日時・テーマについては決まり次第、本紙・当院ホームページ・案内状にてご連絡差し上げます。皆様のご参加お待ちしております。

## ■開放型病院運営管理会議・共同診療会議を開催しました

平成27年2月23日（月）19時より当院6階大会議室におきまして、「開放型病院運営管理会議・共同診療会議」を開催しました。

「浜松市医師会」より石垣理事・松田第9部会長・鈴木事務局長、「院外委員」として木俣外科消化器科医院 木俣院長、加藤整形外科医院 加藤院長 木谷眼科医院 木谷院長の計6名の方にご出席いただきました。また、当院からは有井院長、三宅副院長、河本副院長はじめ19名の参加がありました。議題内容としては「1. 開放型病院利用状況の報告」「2. 病診連携サービス満足度実態調査アンケート結果等について」「3. その他協議事項について」の内容で開催いたしました。今回の委員会でのご意見は、当院として今後の病院運営に活かしてまいります。

## ■診療科より

- ・3月より**心臓血管外科**に熊谷<sup>くまがい</sup>医師が赴任しました。
- ・3月末をもって**心臓血管外科**平間医師、**呼吸器内科**秋山医師、**消化器内科**越川医師、**眼科**原田医師が異動します。後任につきましては、次号以降本紙でご紹介いたします。
- ・2月末をもって**小児科**田中医師が退職しました。小児科につきましては**2月3月休診とさせていただきます**。なお、**4月より小児科常勤医師の着任により診療を再開させていただきます**。また、いままで田中医師が行っていました専門外来の漢方外来につきましては休止させていただきます。
- ・今月より**婦人科**外来の**不妊外来**、水曜日の担当が朝比奈医師から小澤医師へ変更しました。
- ・**婦人科・皮膚科**につきましては**午後診療**も行っております。  
(詳しくは**3月外来担当医表**をご覧ください)

## ■地域医療連携室より

- ・土曜日の午前中(8:15~12:00)に紹介患者予約の受付を行っております。地域医療連携室スタッフは不在のため、事務当直室での対応となります。不慣れなところもございますがよろしくお願いたします。
- ・連携室では、紹介患者さんの待ち時間短縮を図るため、紹介元の医療機関様の事前予約をお願いしております。事前予約につきましては、当院所定の紹介状様式をご使用いただき、予約決定後、**FAXにて当連携室宛て**に送信いただきますようお願い申し上げます。

また、紹介患者さんには**紹介患者専用受付窓口⑨番**へのご案内を重ねてお願い申し上げます。

TEL 053-411-0366 FAX 053-411-0315 担当 今村、吉田

浜松労災病院案内図



○遠鉄バスをご利用される場合

- 浜松駅バス乗り場10番より、
- ・蒲小沢渡線(系統番号 71,74,78) 労災病院下車
- ・労災・篠ヶ瀬線(系統番号 85) 労災病院下車
- ・笠井線(系統番号 70)子安下車、徒歩10分
- ・磐田線(系統番号 80)子安下車、徒歩10分

●東名高速道路をご利用される場合

- 浜松ICより20分
- タクシーをご利用される場合 JR浜松駅より約15分

独立行政法人 労働者健康福祉機構  
浜松労災病院 地域医療連携室

電話 053-411-0366  
fax 053-411-0315

受付時間  
月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00